

特集 祝 国の重要無形民俗文化財に指定

弥五郎どんに

命を吹込む人々



令和6年弥五郎どん祭りの浜下り



弥五郎どん保存会
会長 中迫 勇さん

私にとって弥五郎どん祭りは生きがいです。弥五郎どんが練り歩く市街地には、実行委員会ですら縄を張り巡らせません。その長さは約4千メートルありますが、私が一人で作ります。大変な作業ですが、これをやり遂げてこそ祭りの安全とご利益に繋がると思っています。弥五郎どんは地域の守り神とし

て受け継がれてきました。地域の伝統が、国の重要無形民俗文化財に指定されたことは本当に誇らしいことです。これは様々な方の協力をいただきながら祭りを実施できているからこそです。また弥五郎どんは武道の神様としても信仰されており、剣道・柔道などの武道大会も同日開催されます。市外からの大会参加者も多く、祭りを知ってもらえる良い機会です。地元出身者も祭りの日には帰ってきます。今年の祭りもたくさんの方にお越しいただき、岩川八幡神社の鳥居から弥五郎どんが出てくる瞬間や市街地を練り歩く、迫力ある姿を間近で見たいです。



弥五郎どん祭り実行委員会
実行委員長 津曲 芳夫さん

私が弥五郎どん祭りの運営に関わってから50年が経過しました。私が小学生の頃は、弥五郎どんの引き手は神社周辺に住む子ども達のみとされ、私も引いたことはありませんでした。その他の子ども達は、武道大会や鼓笛隊として祭りに参加していました。私自身も相撲大会に出場したこともあり、

子どもの頃から祭りを楽しみにしていました。地元の人達にとって、なくてはならない存在として祭りは歴史を歩んできました。国の重要無形民俗文化財に指定されたことで先輩方から受け継いだ伝統を絶やしてはいけないという気持ちがより強くなりました。その気持ちを後輩達にも継承していきたいながら、たくさん子ども達が祭りに参加できる体制も作っていききたいです。今年市制施行20周年事業として11月4日に弥五郎三兄弟が岩川八幡神社に集結し『弥五郎どんシンポジウム』を開催します。鹿児島県民俗文化会員の出村卓三氏による基調講演や大隅弥五郎太鼓の演奏・神楽舞・獅子舞の演舞があります。11月3日の本祭とあわせてたくさんの方にお越しいただきたいです。



昭和31～32年頃の浜下り

曾於市の秋を代表する「弥五郎どん祭り」は、毎年11月3日に岩川八幡神社で行われる伝統行事です。身の丈4.85メートル、二十五反もの梅染めの着物をもった勇ましい「弥五郎どん」が市街地を練り歩く姿は迫力満点。太鼓の音と合わせて進む行列は、多くの見物客を魅了します。弥五郎どんの正体については、古代の隼人族の首領であるとか、五代の天皇に仕えた武内宿禰であるなど、さまざまな説が伝えられています。いずれの説においても、弥五郎どんは「強く勇ましい守り神」として現在も地元の人に敬われており、弥五郎どん祭りは五穀豊穡や無病息災を祈る行事として長く受け継がれています。令和7年3月28日には「岩川の弥五郎人形行事」として国指定重要無形民俗文化財に指定されました。これは貴重な文化として国から高く評価された証です。地元の人々にとっては心をひとつにする大切な行事であり、訪れる人々にとっても曾於市の歴史と文化を感じられる秋の風物詩としてますます盛り上がるのが期待されます。

弥五郎どん祭り前夜祭 ～どんだん祭り～

音楽劇『弥五郎どんファンタジア』・隼人族の末裔である隼人 加織さんのライブ・隼人族と弥五郎どんにまつわる東川隆太郎さんのトークショーなどがあります。そのほか 1,300 年以上前に京都に移住した隼人族の末裔である大住隼人舞保存会を迎え、弥五郎どんと隼人族が時空を超えて再会する歴史的なイベントを開催予定です。

日程 11月2日(日)

開演 午後3時
場所 大隅文化会館

お問い合わせ
前夜祭実行委員長 小濱 ☎ 090-1970-8379

世代を超えて守りたい 伝統の祭り



パレード部
副部長 川野 里子 さん

パレードには小・中学生吹奏楽部の演奏や、地元企業・団体による踊り連など約 500 名が参加します。全体練習や各自で踊りの練習をおこない祭りに臨みます。昨年度から振り上げた腕をビシッと止める男踊りに取り組んでいるので、手がキレイに揃った一条笑顔で楽しく踊ることを心がけながら見に来た方にも笑顔をお届け、弥五郎どん祭りの魅力を知ってもらいたいです。



弥五郎どん引き手
岩川小5年 室田 大雅 さん

弥五郎どん祭りが大好きでいつも家族で見に行っています。弥五郎どんが練り歩く姿は大きくて迫力があるし、太鼓の音が胸に響いて心がワクワクします。そんな弥五郎どんを引っ張れることが楽しみです。最後まで元気に引っ張るために、野球の練習を頑張って体力をつけたいです。弥五郎どん祭りはたくさんの方が来るので緊張もしますが、大きい声を出して盛り上げたいです。



巨神伝説太鼓衆 大隅弥五郎太鼓
代表 入来 一泰 さん

大隅弥五郎太鼓は昭和 56 年の結成以降、浜下り時に沿道の観客に弥五郎どんが来ることを知らせる役目を担っています。祭り当日は約 3 時間も太鼓を叩くのできついです。それよりも楽しさが上回ります。何より観客に笑顔や感動を届けたいという思いを全員が持ちながら叩いています。国指定の無形民俗文化財になったことを誇りに今年の祭りも盛り上げるので、たくさんの方が見に来てほしいです。



製作部
部長 中迫 浩志 さん

弥五郎どんは竹を編んだもので組み立てます。竹を 30 本伐採し竹割り・へぎ取りをおこない胴体と腕部分を編みます。製作部は 10 人いますが、日中は仕事をしているので夕方に作業を行い約 20 日間で完成します。製作は 4 年に 1 回しか行わないので、壊れないよう丈夫な竹を選んだり、寸法を間違えないよう注意が必要です。若手の製作部員に技術を教えながら、伝統を守り継いでいきたいです。

市制施行 20 周年記念事業 弥五郎どん祭り

4 歳 85 歳の弥五郎どんが市街地を練り歩く「浜下り」は圧巻。そのほか市中パレード・武道大会・のど自慢・露店商と催しがいっぱい！令和 7 年 3 月 28 日に「岩川の弥五郎人形行事」として国指定重要無形民俗文化財に指定されました。

日程 11月3日(月)

内容 午前 4 時～ 弥五郎どん起こし
午後 1 時～ 弥五郎どん浜下り
岩川八幡神社出発
午後 1 時 30 分～ 高架橋下 (JA 前交差点)
弥五郎どんのイナバウアー
午後 3 時 45 分～ 岩川八幡神社到着
武道大会 剣道 / 柔道 / 空全連 / 少林寺 / 弓道 / バレーボール

お問い合わせ 曾於市商工会大隅支所 ☎ 099-482-1432

市制施行 20 周年記念事業 弥五郎どんシンポジウム ～八幡神社と弥五郎どん～

弥五郎三兄弟が曾於市に集結します。鹿児島民俗学会会員の出村卓三氏の基調講演や記念演舞も披露されます。

日程 11月4日(火)

場所 岩川八幡神社
内容 午前 9 時 50 分～ 出村 卓三氏 基調講演
午前 11 時～ パネルディスカッション
午後 1 時～午後 3 時 記念演舞
(大隅弥五郎太鼓・神楽舞・獅子舞)

お問い合わせ 商工観光課 観光振興係 ☎ 0986-76-8282



昭和 20 年
終戦直後も祭りを実施



昭和 31 ～ 32 年頃
長い棒を使い方向転換



昭和 44 年 7 月 28 日
夏祭り市中パレード



平成 4 年にスペインで行われた
巨人万国博覧会に参加

